

「カドリール」と呼ばれる馬術に挑戦する乗馬クラブの児童ら＝2日午後3時すぎ、銘苅小学校



那覇市立銘苅小学校（初鹿野修校長）乗馬クラブの成果発表会が2日午後、同校あおぞら広場で開かれた。児童24人がヨナグニウマにまたがり、

馬術の成果披露

銘苅小乗馬クラブ

行進して図形を描く演技をする「カドリール」に挑戦した。

同校では動物との触れ合いを通してコミュニケーション能力を向上させようと、昨年からクラブ活動の時間に乗馬を行っている。ヨナグニウマによる教育活動に取り組むNPO法人ヨナグニウマふれあい広場が協力している。ことしは5月から4～6年生24人が馬の扱いを学んだり、騎乗したりして訓練を積んだ。

発表会で児童は3組に分かれ、「ルパ」「ユウナ」「トゥバル」の雄3頭にまたがり、足を掛けるあぶみと呼ばれる馬具や手綱を使って巧みに馬を操った。宮国祥也君(10)は「初めは怖かったけど、今はとてもかわいい」と魅力を語り、「乗馬も上手にできた。これからも乗りたい」と笑顔で話した。